

令和5年度 重点取組事項 (管内概要)



紅葉の天狗淵



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局
置 賜 森 林 管 理 署

〒999-1352 山形県西置賜郡小国町大字岩井沢581-45

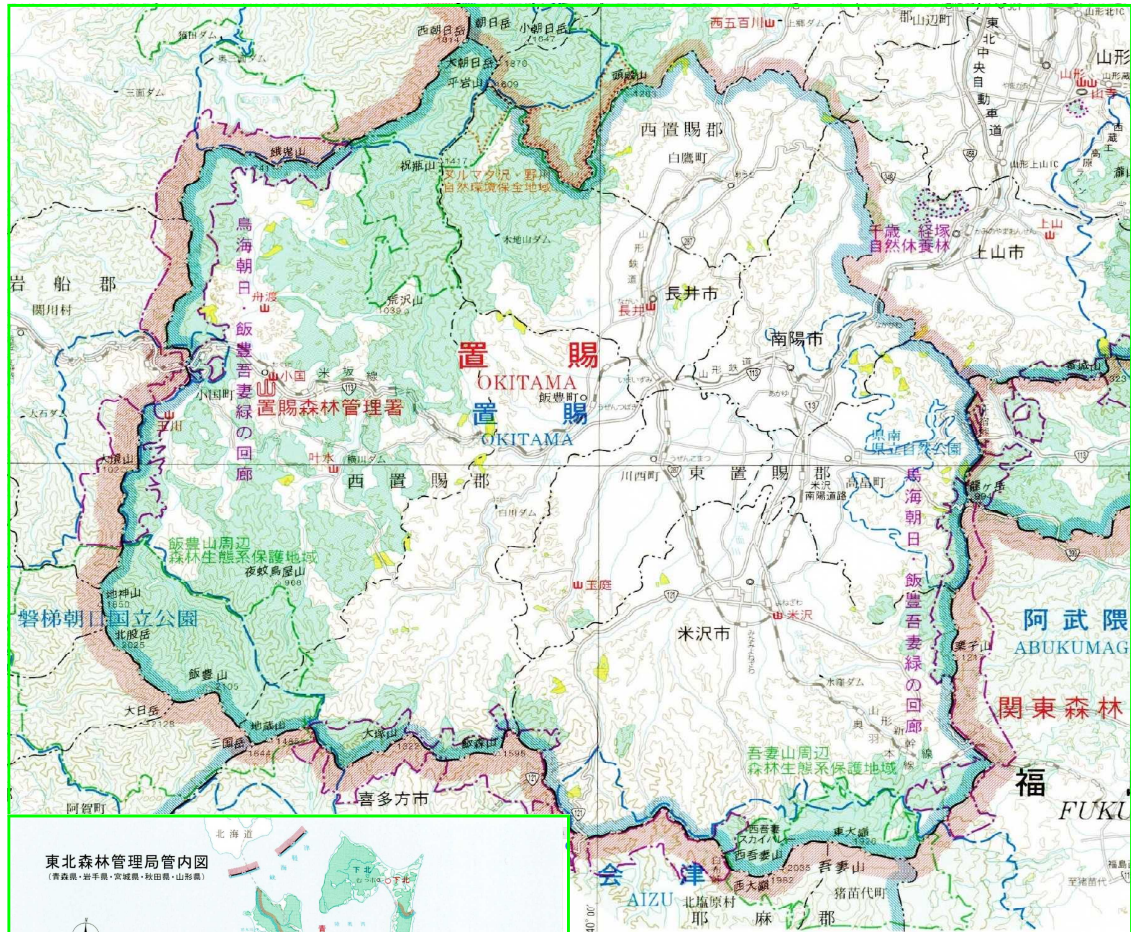
TEL 0238-62-2246 IP 050-3160-5860

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sho/okitama>

I 管内の概要

置賜地域は、山形県の南部に位置し、出羽丘陵をはさんで東南置賜（米沢市、南陽市、高畠町、川西町）、西置賜（長井市、白鷹町、飯豊町、小国町）の3市5町からなっており、東西56km、南北57kmで総面積2,496km²を有し、県総面積に占める割合は、約27%です。

置賜森林管理署は、この地域の31%、森林面積の40%を占める国有林野（官行造林地を含む）7万7千haを管理経営しています。



- 国有林
- 官行造林
- 森林管理署
- 森林事務所

【置賜の由来】

アイヌ語のu (ウ) - ki (キ) - tomam (タム) (「広い、葦の生えている谷」という意味) が語源と言われています。江戸時代上杉藩のころは、「ヲイタマ」または「オキタマ」と呼ばれ、明治時代に入り、米沢県から置賜県に改称、公的に「オキタマ」という呼び名が普及したと考えられています。

Ⅱ 公益重視の管理経営の推進

1 保安林、自然公園等の指定

- ① 管内の国有林は、最上川と新潟県に流れる荒川の源流部の重要な水源地帯に位置し、水源の涵養、土砂流出防備等に大きな役割を果たしていることから、国有林の98%が保安林に指定されています。

保安林種類別面積 (R5. 3. 31現在)

区分	水源かん養	土砂流出防備	干害防備	なだれ防止	保健	合計
面積 (ha)	63,308	(10,459) 11,645	502	(465) 54	(266)	(11,190) 75,509

- 注 1 () は重複する保安林面積で外書です。
2 管内国有林に占める保安林の割合は、98%です。

- ② ブナなどの天然林等が森林面積の90%を占め、それらの森林が朝日連峰、飯豊連峰及び吾妻連峰の2千m級の雄大な景観を形成しており、管内の国有林の22%が国立公園等に、38%が鳥獣保護区に指定されています。

自然公園等の面積 (R5. 3. 31現在)

区分	自然公園		鳥獣保護区
	国立	県立	
面積 (ha)	17,128	1,017	28,973
割合 (%)	22	1	38

- ③ 管内の国有林には、山形県指定の史跡「飯豊山の穴堰」(飯豊町、小国町)、天然記念物「小国のそろばん玉石」(2ha、小国町)、「山形県ヌルマタ沢・野川自然環境保全地域」(765ha、長井市)もあります。

2 適切な森林整備の推進

地球温暖化防止など森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるよう、人工林の下刈、除伐、間伐等の森林整備を推進しています。

令和4年度には、地拵19ha、植付19ha、下刈37ha、除伐27ha、保育間伐19ha、間伐89haを実施しました。

令和5年度は、地拵8ha、植付10ha、下刈48ha、除伐8ha、保育間伐51ha、間伐135haを行う予定です。

また、ツキノワグマによるスギの樹皮剥ぎ(クマ剥ぎ)被害の効果的な防止対策とその検証を行います。また、被害地における森林整備の方法について検討を進めます。



クマ剥ぎ研修会を開催

3 地域の安全・安心を確保する治山事業

森林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図りながら地域の安全・安心を確保する治山事業を実行しています。

令和4年度は以下の治山工事を施工しました。

- ・米沢市「蟹ヶ沢地区」地すべり防止_抑制工（強制排水補修工ほか）
- ・小国町「松ノ沢地区」山地治山_溪間工（コンクリート床固工1基）

令和5年度は以下の治山工事を計画しています。

- ・米沢市「蟹ヶ沢地区」地すべり防止_抑制工（強制排水補修工ほか）

また、災害復旧工事として以下の治山工事を計画しています。

- ・飯豊町「滝ノ沢地区」山地治山_溪間工（コンクリート谷止工1基）

※令和4年6月豪雨により被災

- ・長井市「合地沢地区」山地治山_溪間工（コンクリート谷止工1基）

- ・小国町「金目地区」山地治山_山腹工（コンクリート土留工2基）

※令和4年8月豪雨により被災

令和5年度の調査業務は、昨年度に引き続き、米沢市「蟹ヶ沢地区」において、地すべり変動状況の把握と既設対策工事の効果確認のため、調査ボーリングや観測機器を設置しながら地すべり観測等実施します。



松ノ沢治山工事



蟹ヶ沢地すべり調査業務



蟹ヶ沢地すべり調査業務

4 「保護林」と「緑の回廊」

管内には、貴重な野生動植物が生息・生育するなど豊富な森林生態系を有するブナ林等の天然林が多く、国有林の3分の1が保護林に設定されています。

保護林の中でも特に、森林生態系保護地域は、原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的に設定するものであり、管内には、「飯豊山周辺森林生態系保護地域」、「吾妻山周辺森林生態系保護地域」及び「朝日山地森林生態系保護地域」の3箇所が設定されています。

また、これら保護林を連結する緑の回廊として、「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」が設定されています。

保護林の種類別箇所数・面積(R5.3.31現在)

保護林の種類	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	3	24,878
生物群集保護林	1	1,043
希少個体群保護林	2	16
計	6	25,937

森林生態系保護地域の面積 (R5.3.31現在)

単位：千ha

区 分	朝日山地	飯豊山周辺	吾妻山周辺	計
東北森林管理局	48	11	4	63
置賜森林管理署	10	11	4	25
他署	38	－	－	38
関東森林管理局	22	18	8	46
計	70	29	12	109

鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊の延長・面積 (R5.3.31現在)

区 分	延 長 (km)	面 積 (千ha)
東北森林管理局	235	47
置賜森林管理署	65	11
他署	170	36
関東森林管理局	25	17
計	260	64

「保護林」とは

国有林は、奥地脊梁山地に広く分布しているため、優れた景観を有し、多様な動植物が生息・生育している原生的な天然林が多くあります。それらの森林を保護するため、「保護林」を設定しています。

保護林には、森林生態系保護地域、生物群集保護林、希少個体群保護林の3種類があります。

「緑の回廊」とは

森林生態系保護地域をはじめとする保護林のネットワークを形成し、野生動植物の移動の経路の確保、生息・生育地の拡大と相互の交流を促すため、設定されています。

森林生態系保護地域の保全管理

森林生態系保護地域の適正な保全管理のため、自然保護団体と共同で湿原の植生回復事業を行うとともに、環境省主催の「磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会」へ参画し、関係行政機関、学識経験者等有識者との情報共有、活動方針等に係る意見交換や、朝日山地森林生態系保全センター主催の朝日山地森林生態系保護地域合同パトロールにも参加しています。

また、森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ）による巡視保全活動を行っています。



自然保護団体と共同の植生回復事業



登山者カウンターの設置



森林生態系保護地域表示板整備（飯豊山）



朝日山地森林生態系保護地域合同パトロール

5 森林ふれあい活動

当署では、森林・林業や国有林の仕事に理解を深めていただくため、関係機関と連携して、地域の方々や小学生等を対象にした森林教室、木工教室、植樹体験を実施しています。

白い森づくり体験事業（小国町、小国小学校、林業事業体との連携）



高性能機械による造材作業を見学する生徒たち



コンテナ苗を植樹しました



植樹体験を終え、満足そうな生徒たち



森林教室で木材の搬出から使われ方などを学びます

また、国有林のフィールドを様々な活動の場として提供するため、旧越後米沢街道十三峠の1つ、黒沢峠の保全活動に取り組む「黒沢峠敷石道保存会」と平成23年度に東北森林管理局では初めてとなる「多様な活動の森」の協定を締結し、敷石道の保存活動が行われています。



黒沢峠の敷石道

Ⅲ 民有林との連携・協力

1 航空レーザ計測の取組

県・市町と連携し、航空レーザを活用した森林資源の把握や国有林情報も含めた森林クラウド整備に取り組めます。

2 ICT機器の活用

ドローン等のICT機器を積極的に利活用し、普及に向けた情報発信に取り組めます。

3 森林共同施業団地における取組

小国町黒沢・種沢地区森林共同施業団地は、私有林の集約化について地域住民の理解が得られたことから、今年度は協定締結者による現地踏査を行い森林整備の委託契約方法等について検討を行います。



4 広葉樹採材検討会

近年の広葉樹需要に対応した樹種及び造材寸法について、林業関係者と一緒に検討する採材検討会を行います。

また、スギ等人工林の針広混交林化を図り、さらに広葉樹の割合を増やしていくため、有用広葉樹を保全する取組を進めます。



令和4年度採材検討会の様子

IV 新しい林業の実現に向けて

1 筋刈の本格導入

下刈の低コスト化に向け、従来の全刈から筋刈への変更による省力化を本格的に取り組めます。



筋刈を行った造林地

2 一貫作業における大苗植栽標準化

伐採と造林の一貫作業システムと大苗の植栽を組み合わせることで下刈回数を減らし経費の縮減に取り組めます。

3 生産性向上の取組

生産性の高い林業を確立するため、林業事業体と連携し、造材手際の向上を進め造材工程のアップに取り組めます。

4 収穫調査の効率化

3Dレーザの活用や新たな調査方法により、収穫調査の効率化に取り組めます。



3Dレーザの活用

V 木材の安定供給の推進

1 国産材の安定供給

公益重視の管理経営を推進しつつ、適切な森林整備の結果得られる木材をシステム販売や委託販売等により安定的かつ計画的に供給します。

VI 主要事業量

○収穫量	国有林	69.2千m ³			
○生産事業	生産量	14千m ³			
○造林事業	新植	10ha	下刈	48ha	除伐8ha 保育間伐51ha
	歩道整備	1.90km			
○林道事業	新設	1路線	550m	災害復旧改良	3路線 188m
	特殊修繕工事	1路線	250m		
○治山事業	谷止工	2基			
	強制排水補修工	1地区			
	山腹工	1箇所			

VII あなたのまちの国有林

米沢市

総面積の76%が森林で、国有林がその23%を占めています。

米沢市内の国有林の大部分は、保安林整備臨時措置法に基づき昭和29年以降に買い入れた保安林であり、市南東部の吾妻山系北部、最上川源流部に位置しています。

原生的な天然林が多く、平成7年に「吾妻山周辺森林生態系保護地域」に設定されました。また、磐梯朝日国立公園にも指定されています。

「野外スポーツ地域」に指定されている天元台地区は、登山客やスキーヤーが年間を通じて訪れています。

南陽市

総面積の約60%が森林で、国有林がその3%を占めています。

南陽市内の国有林は、市北部の水林地区にあり、全域が水源かん養保安林に指定され、豊富できれいな水の供給に貢献しています。

当地は、吉野川の源流部で、江戸の頃より米沢の上杉藩が「水御林(水林)」と定め、下流の水源確保に努めた歴史があります。

高畠町

総面積の約58%が森林で、国有林がその13%を占めています。

高畠町内の国有林の大部分は、町の東部、奥羽山系の西部に位置し、龍ヶ岳から豪士山にかけて県立自然公園に指定されています。

全域が水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されており、水源の確保や国土の保全等に貢献しています。

川西町

総面積の47%が森林で、国有林がその2%を占めています。

川西町内の国有林は、町の南部浅俣地区に位置し、米沢市に接しています。

浅俣のヒメコマツは、低山(360~470m)に群生している貴重な天然林であることから、「希少個体群保護林」に設定して保護に努めています。

長井市

総面積の約68%が森林で、国有林がその61%を占めています。

長井市内の国有林は、市の西部、朝日山系の東部に位置しています。

野川上流部は「野川風景林」に指定されており、木地山ダムからの景観は多くの人々に親しまれています。

これらの全域が土砂流出防備保安林や水源かん養保安林に指定されており、複層林施業等の公益的機能を重視した森林整備に努め、国土の保全と下流住民に豊富できれいな水を供給しています。

白鷹町

総面積の約65%が森林で、国有林がその9%を占めています。

白鷹町内の国有林は、町の西部に位置し、葉山及び藤堂山の東部に位置し、朝日町に接しています。

全域がブナやミズナラを主とする広葉樹天然林で、水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されており、水源の確保や国土保全に貢献しています。

飯豊町

総面積の約84%が森林で、国有林がその22%を占めています。

飯豊町内の国有林は、大部分が町の南部、白川の源流部に位置し、福島県に接しています。

これら森林は、ほぼ全域が水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定され、公益的機能の発揮等の役割を果たしています。

「大日杉野営場」は、「森林スポーツ林」に指定され、地蔵岳から飯豊本山に至る縦走コースの登山基地となっています。また、地蔵岳周辺の優れた山岳景観は「飯豊風景林」として森林レクリエーションの場として活用されています。

小国町

総面積の約94%が森林で、国有林がその72%を占めています。

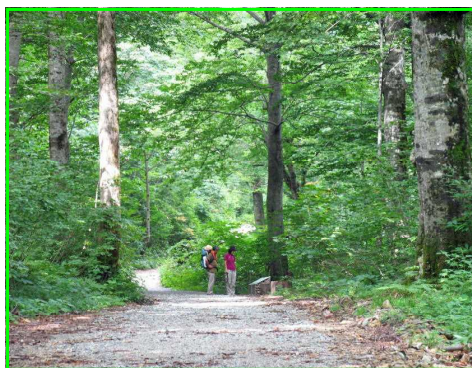
小国町内の国有林は、町の全域に分布し、北部地域の森林は朝日山系の南側に位置し新潟県と、南部地域の森林は飯豊山系の北側に位置し新潟県及び福島県と接しており、両山系とも磐梯朝日国立公園に指定されています。

両山系に属する貴重な森林は、平成4年に「飯豊山周辺森林生態系保護地域」、平成15年に「朝日山地森林生態系保護地域」に設定され、原始的で多様な森林と野生動植物の保護に努めています。

また、温身平風致探勝林など5箇所がレクリエーションの森に指定され、森林とのふれあいの場として自然景観を維持しつつ活用されています。

この温身平は、平成18年に日本初の森林セラピー基地に認定され、小国町では、施設や受入体制の整備等、森林セラピー基地づくりを進め、多くの人々が訪れています。また、平成29年1月にはモデル的なレクリエーションの森として「日本美しの森お薦め国有林」（全国100箇所）にも選定されました。

【森林セラピー基地 温身平】



森林セラピー基地 温身平

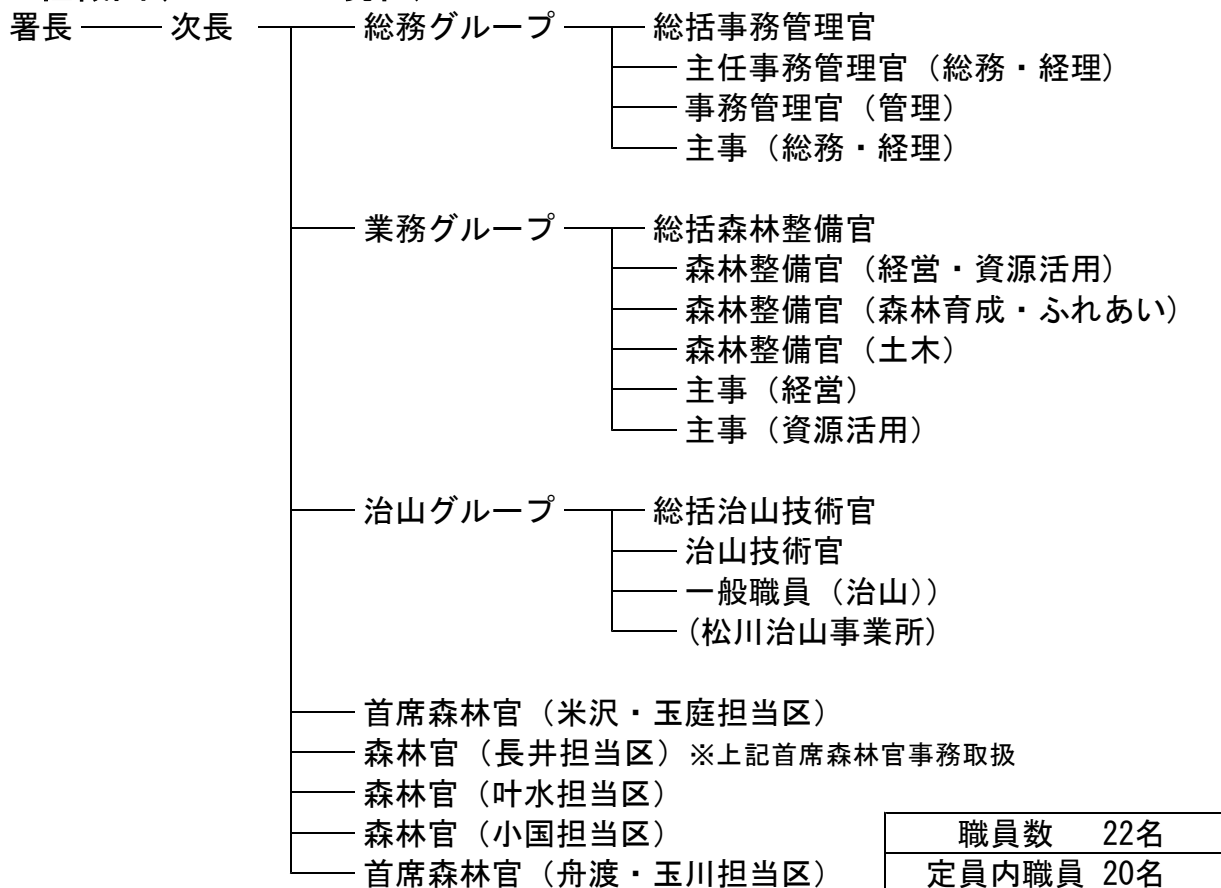
ぬくみだいら 森林セラピー基地 温身平とは

森林セラピーは、森が持つ癒し効果をストレス解消や健康増進に役立てようとするものです。

平成31年3月現在、森林セラピー基地及びセラピーロードに全国で63箇所が認定されています(NPO法人森林セラピーソサエティ情報)。小国町が申請した「ブナの森 温身平」は、第1期に認定されています。

温身平は、飯豊連峰北側の山麓の溪流沿いにあり、風致探勝林55haを含む当該地域の面積は約300ha、その大半が国有林であり、ブナを中心とする天然林が広がっています。飯豊連峰への登山口でもあることから、観光や登山等の目的で多くの人々が訪れています。

VIII 組織図(R5.4.1現在)



IX 沿革

明治22年	4月	宮城大林区署に「米沢派出所」を設置
明治25年	4月	宮城大林区署に「米沢小林区署」と「小国小林区署」を設置
明治40年	7月	米沢小林区署は、山形小林区署に統合
大正2年	6月	宮城大林区署を廃止し、秋田大林区署に移管
大正3年	8月	小国小林区署を東京大林区署に移管
大正13年	12月	大林区署は「営林局」に、小林区署は「営林署」に改称「米沢営林署」を設置
昭和13年	8月	小国営林署を秋田営林局に移管
昭和27年	3月	小国営林署旧庁舎を小国町大字緑町に新築
昭和32年	10月	米沢営林署旧庁舎を米沢市下花沢町に新築
平成7年	3月	「小国営林署」と「米沢営林署」を統合し、「小国営林署」と「米沢森林管理センター」に改組
平成11年	3月	組織再編により東北森林管理局の「置賜森林管理署」に改称
平成13年	8月	「米沢森林管理センター」を廃止
平成16年	12月	置賜森林管理署現庁舎を小国町大字岩井沢に新築



置賜森林管理署庁舎